



議案書案への主なご質問と回答

先日お送りした議案書案に対し、多くのご意見・ご質問をお寄せいただきありがとうございました。ご意見・ご質問とそれに対する回答をお送りします。これを参考に総代会議案書をご覧いただき、ご不明な点は「ご意見書」にお書きください。どうぞよろしくお願いたします。

◆組合員拡大について

Q1. キッチンカーやフェスタ等で、組合員拡大や気軽に生産者や商品と触れ合える機会を増やすのはとても良いことだと思います。大きなイベントだけでなく、地域の小さなイベントや子ども向けのイベント等にもどんどん参加してほしいです。できれば保育園や学校等で保護者向けのお話会や教育施設を巻き込んだイベントができるとういいですね。

A1. イベントや食育講座など積極的に出かけていきますので、ぜひお声がけや、イベント情報の提供などをいただくと助かります。

◆組合員の声を業務に活かすことについて

Q2. 生協として組合員の声を聞くことはとても大事な事だと思います。利用高UPのためにも、脱退率を下げるためにも、組合側からの発信も大事ですが、組合員一人一人の声を聞くことも大切にしてほしいです。

A2. 引続き組合員の声が届く組織づくり、CS（組合員満足）の取り組みを進めていきます。

Q3. 今まで組合員からの声で企画を開始できた商品はどれくらいありますか。要望のあった商品を企画できるよう努力してほしいです。

A3. 2019年度では①連合商品委員会での試食品として、組合員の声を聞きながら開発改良して企画を開始した商品31品、②連合商品委員会で生まれた「555企画」で、要望によって企画または企画頻度・露出が増えた商品21品、③サービスセンターに寄せられる組合員の声、日常的な改善要望などから企画が実現した商品45品となっています。「連合商品委員会」と連携し組合員の声を商品に反映していく体制をさらに整えていきます。

Q4. 要望は組合員サービスセンターにTELする以外に伝える方法がありますか？様々な声を上げやすいようにしていただきたいです。

A4. ご要望は配送スタッフにメモをお渡しいただいても大丈夫です。まほろば通信等でも定期的にご要望をお寄せいただくコーナーを設けます。また、現在オンライン上でお問い合わせいただけるチャット機能を構築中ですので、商品の要望をいただくツールとしても検討していきます。

◆リンクス社員の待遇について

Q5. 今回コロナという大変な事態となり、たくさんの荷物を配達されている配送スタッフに臨時手当があればなと思います。

A5. お心遣いありがとうございます。全職員に特別慰労金を支給しました。

Q6. 配送スタッフの入れ替わりが多すぎると思います。主に辞められた方についてですが、給与が安すぎる等はありませんか。

A6. 配送については子会社の㈱コープ自然派リンクスに委託しているため、配送人件費は生協の明細に含まれていません。給与についても地域同業種の調査を行い、平均以上の支給していると考えます。事実、退職された方の再雇用、いわゆる「出戻り」も頻発しています。

Q7. 配送スタッフがコープ自然派の商品について知識のないばかりで大変残念です。自らが配達している商品に愛着も何もない人に配達される買う側の気持ちを考えてみてください。せっかく丹精込めて作ってくださっている生産者さんや商品開発の方々がいらっしやるのに・・・。

A7. 申し訳ありません。従業員教育については引き続き強化します。

Q8. 卵が割れていたりパンがつぶれていたり、購入した商品が悲しい状態で届くことがあります。職員の研修や働きやすさを考え進めていただくなど、忙しい今こそ改革が必要と考えます。

A8. ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。商品の取り扱いについては細心の注意を払っておりますが、今後さらに担当者の教育強化と共に、ピッキング精度の向上に取り組んでいきます。

◆決算について

Q9. 教育文化費が前年度比200%を超えている理由を教えてください。

A9. 教育文化費の増加分は、主に11月に開催したフェスタの費用です。野外開催のためテントなどの費用が大きくなりました。

Q10. 貸倒引当金繰入が前年度比200%を超えている理由を教えてください。

A10. 貸倒引当金繰入については、新型コロナの影響で3月の供給高が急増したことともなって増加しています。大半は4月以降に回収できるよう対応済みです。

Q11. 未収金について、他地域との比較を教えてください。

A11. 未収金対策はコープ自然派全体の課題です。他生協との割合に大きな差はありません。

◆商品政策について

Q12. アイチョイスについて詳しく教えてください。

A12. あいち生活協同組合と生活協同組合ぶちとまとの連合会で、コープ自然派と同じく生協ネットワーク21の加盟生協です。理念や価値観が近い生協が協働して事業や運動を推進しています。

Q13. 食材セットのあたりはずれがあります。キャベツの芯（食べられないくらい太く大きいもの）が大量に入っていたり、レシピ通りに作りたいのに食材がぐちゃぐちゃに混ざってしまっていたり・・・。

A13. 申し訳ありません。キャベツの芯に関しては以前から変わらず手作業にて芯取り作業を行っています。再度周知ししっかりと取り除けるように対応していきます。包装については費用や生産効率も考慮した上で、カップ対応、トレーの見直しや脱気等の検討を続けています。特にレシピに絡むものやみじん切りのものなど、優先順位をつけながら対応を進めます。具体的な改良に対しては、コスト的な問題や技術的な問題もありスピード感が不足している面はありますが、課題の整理や体制強化も含めて、対応力を高めていけるようにします。

Q14. 食材セットについて、価格設定においての原価率等を公開し、組合員が利用しやすい価格の設定や包材のリユース化への工夫等への投資につながるようにしてください。

A14. 商品によって少し差はありますが、原価率は約 75.5%です。そこから組合員までのお届け費用（運送費、人件費、物件費など）が約 18%になります。一般の食品と比べても、原価率は高め設定で、原材料にはお金をかけつつ、生産効率を高めることで人件費を抑えて利益を捻出しています。需要増に対応する設備投資、組合員要望にもある包材の改良含め、将来のための様々な投資を行うためには原資が必要です。少しずつ損益改善を図りながら、対応を進めているところです。

Q15. 食材セット紙容器化の検討について、第 15 回（2017 年 6 月）総代会で回答をいただいていますが進んでいますか？

A15. 現状では具体的に進められていませんが、2020 年度は本格的にリサイクル事業に乗り出し、組合員とともに取り組みを進めていく方針です。引き続き優先課題として取り組んでいきます。

Q16. マクロビオティックや薬膳、子どもと一緒に調理 etc 活動の紹介やイベントだけでなく、商品にも取り入れてほしいです。薬膳の食材セットや親子で料理（お菓子作り）の食材セットを販売したりできないでしょうか。

A16. 「連合商品委員会」と連携し取り組みを進めていきます。

Q17. オーガニックは食べるものだけではなく、服、台所用品（スポンジを自然素材のたわしやびわこふきんにする）、コスメ、住宅など、オーガニックライフを目指してほしい。目指すアイデアを共有してほしいです。

A17. 「連合商品委員会」と連携し、組合員が商品企画に参加できる組織作りを進めます。

◆給食取り組みについて

Q18. 地産地消オーガニックの給食について、奈良の保育園や幼稚園にも声かけをしてもらいたいです。保育園や幼稚園は給食だけでなくおやつもあります。どちらのハードルが高いのか分かりませんが、おやつだけでも地産地消オーガニックを実現できると良いなと思います。

A18. 「奈良の学校給食を考える会」は年々活動が広がっています。引き続き地域団体とともに取り組みを進めていきます。合わせて、保護者の声が 1 番影響力が大きいです。お子さんの通っている保育園や幼稚園など声をかけられるところがあれば、保護者としてお声がけいただけると推進力になります。

◆イベント開催について

Q19. 土日開催イベントを増やしたいとのこと、ぜひ可能な範囲で続けてください。

A19. 様々なライフスタイルの組合員が活動に参加できる機会を増やせるよう取り組みます。

◆リサイクル等環境取り組みについて

Q20. プラスチックフリー、ゼロウェイストをもっと進めてほしい。事業所としてゼロウェイスト認証取得を目指してほしい。いつか量り売りショップを！

A20. 容器包装の 3R を進める全国ネットワークに参加し、学習と情報共有を進めています。フェスタではごみゼロに取り組み大きな成果が出ました。引き続き組合員活動とも連携し進めていきます。

Q21. 包装のビニール袋に貼られているシール（組合員の名前が書かれているもの）がはがしやすくリサイクルに出しやすくなりました。ありがとうございます。

A21. これからも組合員の声がしっかりと届く組織づくりに努めます。

Q22. 回収できるものを明確に示していただけるとリユース・リサイクルの取り組みに参加しやすいです。

A22. 現在回収しているのはカタログと、以下のビンです。

- ・自然派 Style ビン牛乳
- ・天然仕込み醤油（ヤマヒサ）
- ・菜食健美 2 本（ひまわり乳業）

もっと対象を広げていきたいところですが、回収率が低く、現在リサイクルしている商品すら継続が危ぶまれている状況です。商品案内のリサイクル対象商品のマークの見せ方を改善する、まほろば元気通信などでも啓発するとともに、リサイクル対象商品を増やす取り組みを進めます。

Q23. 事業での環境負荷低減について、数字で見える化して取り組んでほしいです。2012 年にコープ自然派奈良で調査した数値があります（リユースビン回収率：しょうゆビン 30%、牛乳ビン 55%/ビニール袋(ガゼット)使用量 1 日平均 982 枚)が、現在はどうか。現状調査と結果の公表を望みます。カタログの回収率も教えてください。

A23. カatalogの回収率は 2020 年 4 月現在、全体で 43.8%、奈良で 66.2%です（2019 年度の回収量・回収率は総代会議案書資料集に追加しました）。リユースビン回収率とガゼット使用量は正確な数値の確認に時間がかかっており、総代会終了後の総代通信にて回答させていただきます。ご了承ください。2020 年度は本格的にリサイクル事業に注力し、組合員とともに数字に根ざした取り組みを進めていきます。

Q24. 自然派 Style 商品（ジャムビンなど）の開発時にリユースビンとしていってほしいです。リユースは経費がかかっても未来への投資です。

A24. 自然派 Style 商品のリユース化を率先して進め、プライベートブランドとして誇れる位置づけを目指します。

◆アピール（案）について

Q25. とても良いと思います。一人ひとりが大切にされる社会を未来に手渡すため行動に移していきたいです。

A25. 2018 年度から 2 年間「民主主義を守ろう」を特別決議に掲げ、様々な学習会や講演会を行いました。今年度は皆でこれまでの学びを行動に移していきたいと思っています。

◆総代会運営について

Q26. 議案書（案）には資料集がありませんが、理事会審議事項、理事会出席状況、監事会の主な取り組み、受注ベスト 25 は毎回議案書に載せてください。

A26. 毎回掲載します。

Q27. 今回は土曜日開催を楽しみにしていたので残念です。次回も土日を検討してください（平日開催と交互が良いと思います）。

A27. 今年度はコロナウイルス感染症拡大の緊急事態を受け、やむなく書面中心となりましたので、来年こそは多くの方に当日出席いただけるよう日程を検討します。

たくさんのご意見・ご質問ありがとうございました！